

第44回 秋田県産米品評会 褒賞受賞者について

令和7年度開催の第44回秋田県産米品評会には、県内の農業協同組合及び主食集荷商業協同組合の生産者から123点が出品され、令和7年10月24日開催の審査委員会において、整粒歩合・食味値・被害粒及び形質などの審査基準に基づいて厳正かつ慎重に審査が行われました。

その結果、計20点が秋田県産米改良協会会長賞として選定され、受賞者には令和7年11月4日開催の「第44回秋田県産米品評会褒賞授与式」において小松忠彦会長から賞状の授与と賞品が贈呈されました。また、最優秀賞を受賞した6名には農林水産省東北農政局長賞などの特別賞が授与されました。

また、秋田県種苗交換会の協賛事業として実施した秋田県産米改良展において、品評会の出品物を展示しました。



あいさつ（小松会長）



審査報告（松本眞一審査委員長）



最優秀賞並びに特別賞
（農林水産省東北農政局長賞）
を受賞した平柳合同会社 様



秋田県産米改良展

第4回 秋田県産米品評会受賞者名簿

【秋田県産米改良協会会長賞（計 20 点）】

最優秀賞（6 点）

品種名	出品者氏名	所属団体
サキホコレ	平柳合同会社	J A うご
サキホコレ	畑沢 謙	J A 秋田しんせい
サキホコレ	小松 伸一	柳修商店
サキホコレ	佐藤 勉	J A 秋田しんせい
あきたこまちR	茂木 久夫	J A こまち
秋田酒こまち	渡部 秀和	J A こまち

優秀賞（7 点）

品種名	出品者氏名	所属団体
サキホコレ	堀江 均	J A 秋田ふるさと
サキホコレ	伊藤 浩一	J A うご
サキホコレ	齋藤 靖	J A 秋田しんせい
サキホコレ	横井 武良	J A うご
サキホコレ	伊藤 稔浩	柳修商店
サキホコレ	柿崎 孫一	J A こまち
ひとめぼれ	佐藤 勉	J A 秋田しんせい

優良賞（7 点）

品種名	出品者氏名	所属団体
サキホコレ	澁谷 修	J A 秋田ふるさと
サキホコレ	佐藤 正弘	J A うご
秋のきらめき	桜田 正徳	J A かつの
サキホコレ	進藤 宏三	柳修商店
あきたこまちR	阿部 静夫	J A 秋田しんせい
つぶぞろい	農事組合法人 赤田ファーム	J A 秋田しんせい
ひとめぼれ	佐藤 源市	J A 秋田しんせい

【特別賞（計 6 点）】

○農林水産省東北農政局長賞

品種名	出品者氏名	所属団体
サキホコレ	平柳合同会社	J A うご

○秋田県知事賞

品種名	出品者氏名	所属団体
サキホコレ	畑沢 謙	J A 秋田しんせい

○秋田県主食集荷商業協同組合理事長賞

品種名	出品者氏名	所属団体
サキホコレ	小松 伸一	柳修商店

○秋田県農業協同組合中央会代表理事会長賞

品種名	出品者氏名	所属団体
サキホコレ	佐藤 勉	J A 秋田しんせい

○全国農業協同組合連合会秋田県本部県本部長賞

品種名	出品者氏名	所属団体
あきたこまちR	茂木 久夫	J A こまち

○秋田県酒米生産流通対策協議会会長賞

品種名	出品者氏名	所属団体
秋田酒こまち	渡部 秀和	J A こまち

審 査 報 告

第44回秋田県産米品評会に出品された玄米の審査結果につきまして、審査委員会を代表して御報告いたします。

本年の水稻は、移植後の低温や日照不足により分けつの発生が遅れたものの6月の多照や7月以降の高温多照により草丈が長く1穂当たり粒数が多くなり、結果的に収量は平年並みとなりました。

農林水産省公表の9月25日現在の10aあたり予想収量（生産者ふり目幅）も、559kg（前年比101%）と昨年並みになっております。

今回の品評会への総出品数は123点で、品種の内訳は、あきたこまちR75点、サキホコレ20点、ひとめぼれ17点、つぶぞろい2点、めんこいな2点、秋のきらめき2点、醸造用玄米の美山錦3点、秋田酒こまち2点となっております。

出品物は、審査要領に基づいた機械測定値（整粒歩合、食味値、被害粒の混入率）と目視判定（形質など）による総合的な評価を基に、東北農政局秋田県拠点や秋田県、関係団体などで構成する審査委員会において厳正かつ慎重に審査し、順位付けがされました。測定結果の平均値を見ますと、整粒歩合は昨年と同程度の80.0%、被害粒の混入率は昨年より1.6ポイント少ない3.0%となりました。食味値も昨年より1.7ポイント高い75.9と高品質・良食味米生産に取り組む農家の皆様の御努力が感じられました。

審査の結果、秋田県産米改良協会会長賞として、成績上位から6点に最優秀賞、次の7点に優秀賞、次の7点に優良賞を選定いたしました。さらに最優秀賞には農林水産省東北農政局長賞や秋田県知事賞などの特別賞が授与されます。受賞された皆様におかれましては、日頃のたゆまぬ御努力の賜物と心より敬意を表する次第です。

今回出品していただいた皆様には、この品評会を契機として、なお一層、高品質米生産技術の向上に努められ、秋田米の更なるブランド力向上に御尽力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月4日

審査委員長 秋田県農業試験場

作物部長 松本 眞一